※令和４年度以降入学生用

学校番号	101

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ（抽出）	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　情報Ⅰ　（第一学習社）						
副教材等	パーフェクトガイド情報　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

座学では、情報モラルやデジタル化の仕組みといった内容が中心となり、プリント学習だけでなく体験型教材や視聴覚教材などを踏まえながら学習していきます。

実習では、利用頻度の高い「文書処理ソフト」「表計算ソフト」「プレゼンテーションソフト」の３つのソフトを学習し、情報の「収集」「処理」「表現」「発信」といった技術を身に付け、その目的に応じた「使い分け」「連携」といった応用まで発展させます。さらには、動画編集、プログラミング実習を通して発展的な問題解決の手段も習得してもらいます。

２　学習の到達目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり 育成することをめざす。

１．〔知識・技能〕コンピュータをはじめとした情報機器を活用したコミュニケーション能力の確立および、データサイエンスを通じて理解を深め技能を習得するとともに、society5.0 に向けた次世代への在り方について理解を深める。
２．〔思考・判断・表現〕問題の発見および解決に向けて、活用する情報技術を考え、複数のパターンによる表現の試行錯誤をすることで適切な方法について模索・発見し、活用する力を養う。
３．〔主体的に取り組む態度〕情報と情報技術を活用する上で法規や制度、マナーなど個人の役割や責任を理解し上で、AI やロボット、仮想空間など新たな情報社会への視野を広げ、主体的に参画する態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	文書処理	・文書処理ソフト(Word)活用 タイピング 基本操作・書類作成	a：文書処理ソフトウェアの基本的な操作を身に付けることができたか。完成例通りの文書を作成できたか。 b：コンピュータを利用する上で必要な手続きを身に付けることができたか。	提出データ 実技試験	提出データ 実技試験	
	情報社会	・情報社会の問題 ・個人情報	a：個人情報は法律によって扱い方が定められていることを理解している。 b：どのような状態において情報セキュリティ上のリスクがあるかを判断できる。 c：身近な事例から、個人情報について考えようとしている。	小テスト	提出プリント 小テスト	提出プリント 振り返りシート 観察
	情報デザイン	・デザインの基本 ・文書処理ソフト(Word)活用 ポスター制作 国紹介 郷土料理紹介　など	a：情報デザインによる問題解決の手順を理解している。 b：収集した情報を伝える対象や効果的な方法を考えて整理することができる。自分が意図したサイズや背景色を表現できる。 c：ユニバーサルデザインやユーザビリティに配慮してデザインの工夫を考えようとしている。ポスターを主体的に分析しようとしている。ポスターの企画に主体的に参加しようとしている。	提出データ	作品	振り返りシート 観察

※令和４年度以降入学生用

２学期	表計算処理	・表計算ソフト(Excel)活用 基本操作 表・グラフ作成 関数活用	a：表計算ソフトウェアの基本的な操作を身に付けることができたか。見やすい表やグラフを作成することができたか。 b：表計算ソフトウェアで目的の結果を得るための計算式を考えることができたか。 適切な表やグラフを選択することができたか。	提出データ 実技試験	提出データ 実技試験	
	情報のデジタル化	・デジタルデータと２進法 ・デジタル化のしくみ	a:アナログとデジタルの特徴と２進法による表現と情報量の単位について理解している。デジタル化する手順である、標本化、量子化、符号化について理解している。 b：数を２進法、10 進法、16 進法で表現することができる。デジタル化された画像のファイルサイズを色・解像度・階調の観点から考察している。目的に応じた適切な圧縮方法を考え、表現することができる。 c：データの種類を主体的に区別しようとしている。デジタル化や２進法に関心を持とうとしている。	定期考査	提出プリント 定期考査	提出プリント 観察
	コンピュータとプログラミング	・コンピュータのしくみ ・アルゴリズムとプログラム	a：コンピュータのしくみについて理解している。アルゴロジックを通してプログラミングの基礎を理解している。Scratch を用いてプログラムを作成・実行・保存する技能を身につけている。 b：効率よく結果を出すために、条件や目的に合った簡潔でわかりやすいアルゴリズムについて考察している。 Scratch を用いて自分が意図するスプライトの動作を表現することができる。 c：Scratch を用いたプログラミングに主体的に取り組もうとしている。	定期考査 提出データ		提出ワーク 観察

※令和４年度以降入学生用

３ 学 期	問 題 解 決	・プレゼンテーションソフト （Powerpoint）の活用 スライド作成 BS、KJ 法 プレゼンテーション発表 相互評価 川高プロジェクト 一年間学校で過ごしてきて、施設・設備、校則、行事、授業などの問題点や改善点を検討し、改善策や要望を発表する	a：プレゼンテーションソフトウェアの基本的な操作を身に付けることができたか。理解しやすいスライドを作成することができたか。 b：伝えたい内容をわかりやすく伝えるための話の流れを考え、資料作成の工夫ができたか。 c：準備と発表に主体的に取り組もうとしている。BS でアイデアを出すことができる。他の発表の改善点を主体的に提案しようとしている。	提出データ	提出データ プレゼン発表 相互評価	提出ワーク プレゼン発表 相互評価 観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度